



日本フローサーブ株式会社 会社案内

ポンプ、メカニカルシール及び
その他回転機械の設計、製造、販売、
メンテナンス、回転機械の設備診断



Experience In Motion



グローバルネットワーク、ローカルサービス

フローサーブ社(本社、米国テキサス州ダラス)は、グローバルなインフラ市場に流体制御機器およびサービスを提供するリーディングサプライヤーであり、石油精製、電力、ガス、化学、その他産業に製品を納入しています。世界50数カ国で15,000名以上の従業員が事業展開をしています。フローサーブ社はニューヨーク株式市場に上場しています。

当社は、フローサーブ社の世界的なネットワークの一員として、アジア太平洋地域の主要な生産拠点となっています。

日本フローサーブ株式会社

社名(和文表記)	日本フローサーブ株式会社
(英文表記)	FlowsERVE Japan Co., Ltd.
創立	1953年(昭和28年)11月10日
株主	米国FlowsERVE Corporation.
事業内容	ポンプ、メカニカルシール、固液分離機、蒸気タービン、圧縮機 及びその他回転機械の設計、製造、販売、メンテナンス、回転機器の設備診断
登録	特定建設業 国土交通大臣 許可(特-28) 第15624号 機械器具設置工事業 国土交通大臣 許可(特-28) 第15624号 電気工事業 ISO 9001 (96QR039) 高圧ガス設備試験製造認定事業所
URL	https://www.flowsERVE.co.jp



沿革

当社は1953年(昭和28年)の設立以来、ウオシントン・ブランドのもとに、ポンプ、蒸気タービン、圧縮機的设计、製造、販売を行い、石油精製、石油化学、電力、鉄鋼、船舶、公共事業など、日本の基幹産業の発展に貢献してまいりました。現在は、米国フローサーブ社の一員として、Byron Jackson、Durco、Ingersoll-Dresser、Pacific、Pleuger、Worthington等、世界的に著名なポンプを最適条件で提供できる体制を整えるに至りました。

1987年に回転機器メンテナンス専門会社NEMCOを設立し、回転機器の設備診断、コンサルティング、修理、メンテナンスサービスの拡充および高度化にも力を注ぎ、石油精製、化学から原子力発電に至る幅広い分野において、高い評価を得ています。最近では、超高性能遠心分離機においても着々と実績をあげています。21世紀を迎え、当社が時代の要請に応じた各種回転機器の開発・製造を行うと共に、回転機器メンテナンスの効率化という大きな目標に取り組むことにより、お客様にとって価値ある企業として大きく飛躍していきたいと考えています。

2011年12月より、同じフローサーブ傘下であるメカニカルシールの製造、販売、メンテナンスを行うフローサーブ・ジャパン株式会社と合併し、日本フローサーブ株式会社として新たな船出をいたしました。



ラゾーナ川崎プラザに展示されている
ウオシントンポンプ



年表

1840年 米国の機械技師ヘンリー・R・ウオシントンは世界で初めて蒸気駆動ポンプを発明する。

1900年 日本石油(株)新潟鐵工所柏崎分工場(新潟ウオシントン柏崎工場の前身)を開設する。

1923年 米国ウオシントン社は、世界で初めて渦巻きポンプによる圧力70barGを超えるボイラー給水ポンプを納入する。

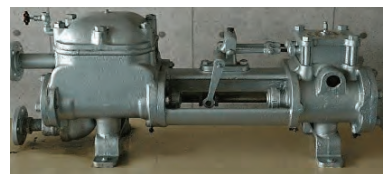
1953年 米国ウオシントン社と(株)新潟鐵工所との技術提携により新潟ウオシントン(株)を設立し、ポンプ、タービン、圧縮機の製造、販売を開始する。

1954年 日本で初めて高速(3,000rpm以上)、高温、高圧用プロセスポンプの製造、販売を開始する。

1971年 高温、高圧用APIプロセスポンプとして、新機種HDSとWTBを開発し、製造、販売を開始する。

1985年 世界最大の7連プランジャポンプ(馬力3,200kW)を開発し、製造、販売を開始する。
米国ウオシントン社は、石油、天然ガスなど資源開発分野の世界的企業である米国ドレッサー・インダストリーズの傘下となる。

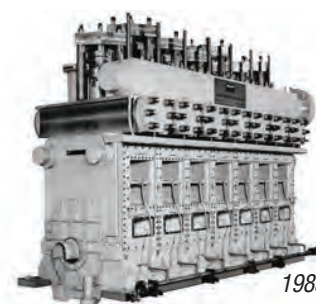
1991年 バレル形高温、高圧用APIプロセスポンプとして、新機種BPを開発し、製造、販売を開始する。



1840



1900



1985



1991



1992年 ドレッサー・インダストリーズ社とインガソランド社とがそれぞれのポンプ部門を統合して、インガソル・ドレッサーポンプカンパニー(IDP)を設立する。IDPが米国側株主となる。

1996年 柏崎工場は、11月に品質管理及び品質保証の国際標準であるISO 9001の認証を取得する。

1997年 輪切形高圧多段ポンプWXHを開発し、製造、販売を開始する。

1998年 高性能固液分離機を開発し、製造、販売を開始する。

2008年 フローサーブ社の日本法人となる。

2011年 メカニカルシールの製造、販売、メンテナンスを行うフローサーブ・ジャパン(株)と合併して、会社名を日本フローサーブ(株)に変更する。

2012年 FCCボトムのスラリーポンプとして大型の片持ちポンプ16HNN-27を開発。

2017年 本社を柏崎工場に移転する。



1997



1998



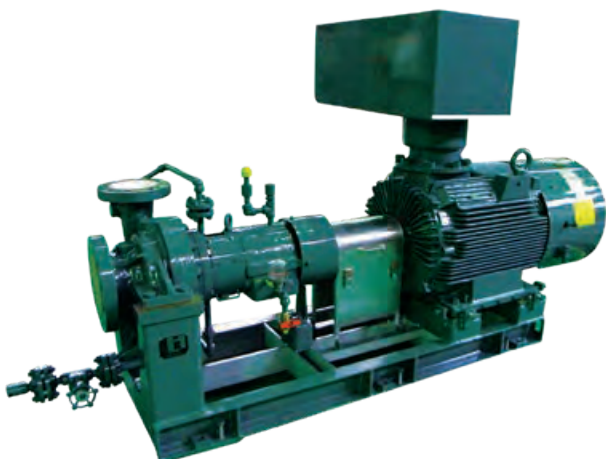
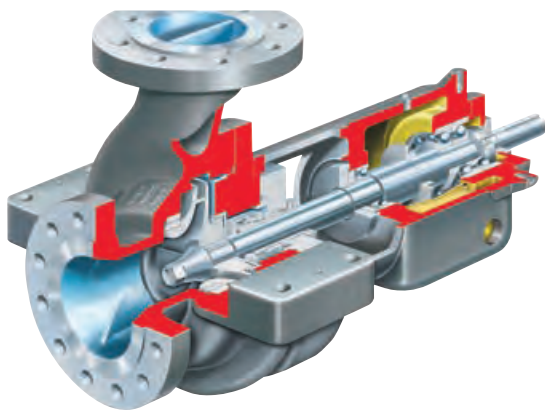
Kashiwazaki plant and QRC



ポンプ概要

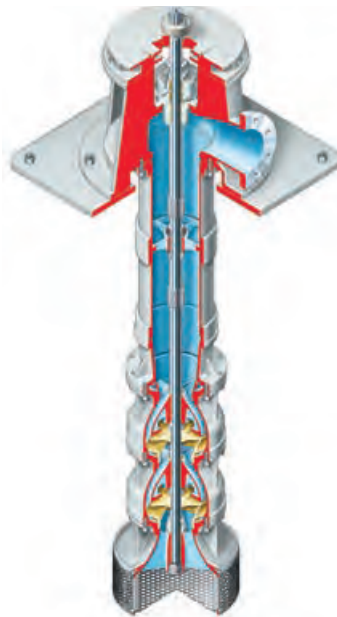
横軸遠心ポンプ

横軸遠心ポンプは、石油精製、石油化学、化学工業で使用されるプロセスポンプを主力製品として製造、販売しています。



立軸ポンプ

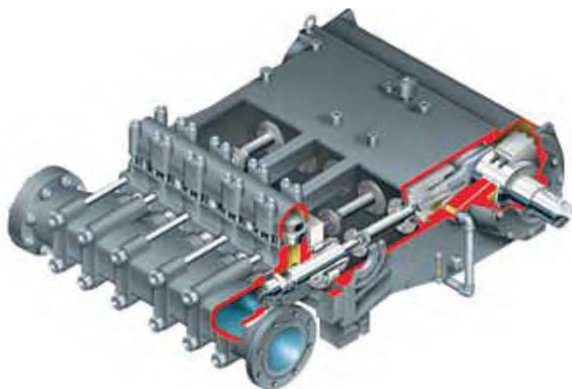
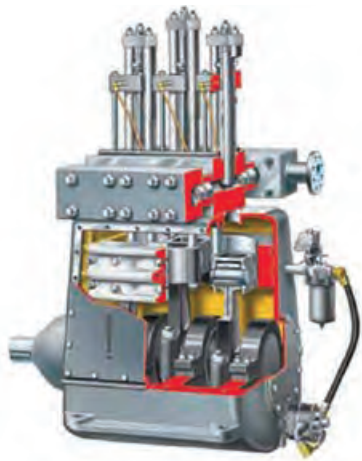
立軸ポンプは、幅広い産業で取り扱われる石油、炭化水素、液化ガス、復水、工業用水用に使用されるポンプです。





プランジャーポンプ

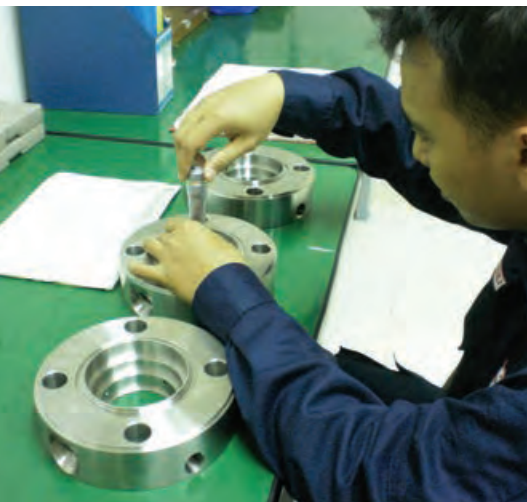
往復動プランジャーポンプは、あらゆる産業分野の高圧ポンプとしてデスケーリング、水圧プレス、石炭液化、アンモニアフィールドなど幅広いサービスに応用できるように設計、製作されています。



固液分離機

立型固液分離機は、立型構造の特長を最大限に生かした高性能遠心分離機です。通常の遠心分離機で扱いが困難であった超微粒子の分離にも効果を発揮し、円滑な連続分離処理を実現させます。





メカニカルシール概要

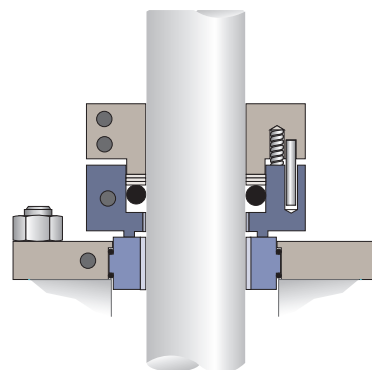
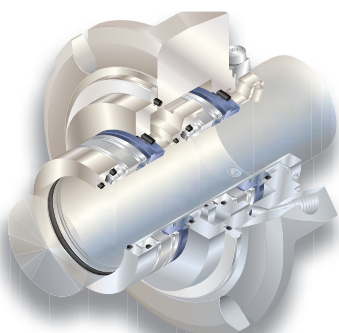
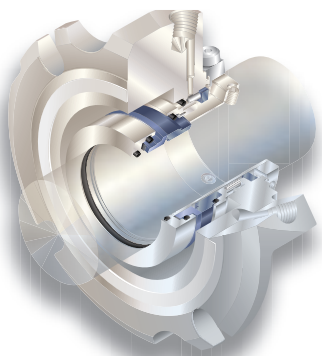
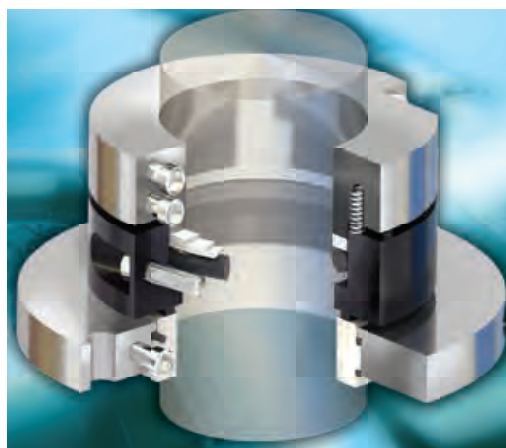
フローサーブ社のメカニカルシールは90年の歴史を持ち、日本での製造、販売は40年の実績を積み重ね、ポンプおよび各種回転機械に装備され、多くの産業分野で使用されています。フローサーブ社が提供するメカニカルシールは、多種多様な条件に使用できます。仕様のには、極低温から高温まで、高速回転、高圧力、ドライ、高スラリー仕様での無注水まで、あらゆる用途に対応した高品質の製品を提供できます。

ISC2シリーズ カートリッジ型シール

各種の主要国際規格を満たし、日本の主要メーカーが製造する多種ポンプモデルにフィットするように設計されています。幅広い液仕様、アプリケーションに適用し、シールの問題を解決し、最大200mmまでの軸径に適用可能です。

MSS型 2つ割りシール

経済的な分離型シールで、ミキサーや反応釜、その他の圧力容器に、容易に取り付けが可能です。従来のグランドパッキン構造で、軸の振れや偏芯量の多い古い機器にも適用できます。





アフターマーケット

柏崎工場、大阪QRC では、優れた修理サービスと技術サポートを提供し、当社及び他社のポンプ、メカニカルシールを中心とした回転機、圧縮機、ミキサーに対して、修理、改良・改造、部品供給および設備診断を行います。加えて、高い技術を持つエンジニアとサービス要員が常駐しており、お客様のニーズに迅速に対応して問題の解決を図ります。

修理サービス

点検あるいは修理を必要とする機器及び部品は、柏崎工場に必要な試験、検査および修納入します。

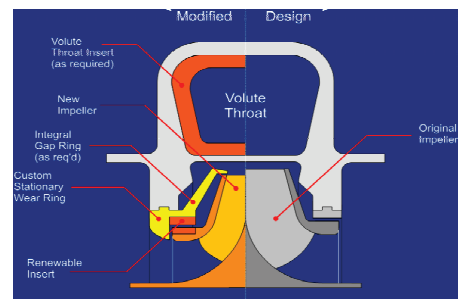
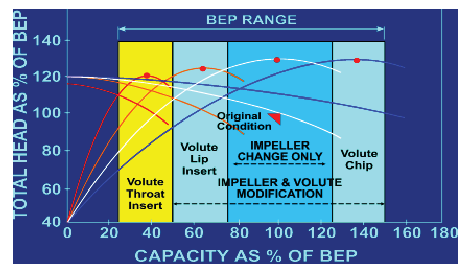


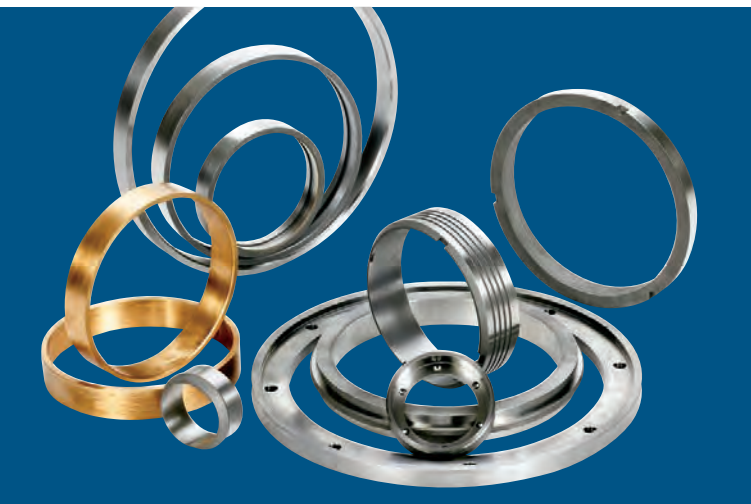
アップグレード・改善サービス

豊富な納入実績・専門的な経験に最新技術を加味した『改善提案書』を提出し、回転機械本体と周辺機器(付属配管、付属機器等)のアップグレード、改善を行います。

主なアップグレード・改善ポイント

- 材質変更による長寿命化
- 改良設計による効率アップ
- 仕様改善による省エネ化





部品供給サービス

専門的な設計・製造技術により、他社製機器の部品をOEM仕様と同等の品質を持ったものに再設計し、製造できます。



技術指導員派遣サービス

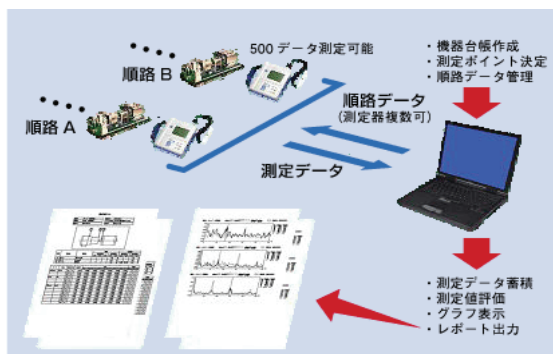
ポンプおよび各種回転機械の現地工事に関し、技術指導員の派遣を行います。

- 定期点検時の回転機械の技術指導および監理・監督
- プラント建設時のエンジニア派遣



設備診断サービス

回転機械の稼働状況を計測診断し、異常を発見した場合は、原因究明、劣化診断、余寿命予測および対策の立案を行います。





主要取引先

プラント・重機関係

石油・石油化学関係

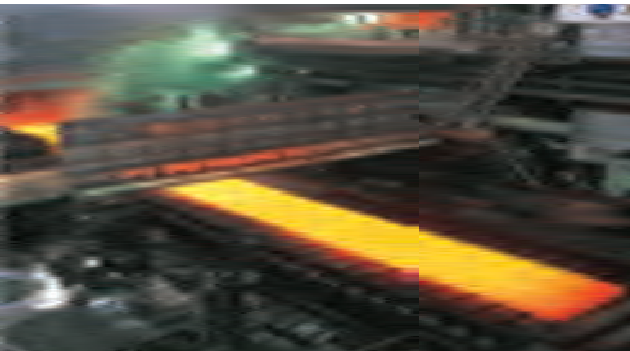
化学・食品関係

備蓄・パイプライン関係

火力・原子力発電関係

船舶・鉄鋼関係

製紙関係





日本

本社 柏崎工場
〒945-0056
新潟県柏崎市新橋1番32号
TEL: 0257-22-2141
FAX: 0257-23-4454

大阪QRC

〒571-0015
大阪府門真市三ツ島4丁目19番3号
TEL: 072-885-5571
FAX: 072-885-5575

川崎営業所

〒210-0006
川崎市川崎区砂子1丁目8番1号
川崎室町ビル11F
TEL: 044-381-8777
FAX: 044-381-8784

大阪営業所

〒571-0015
大阪府門真市三ツ島
4丁目19番3号
TEL: 072-392-7271
FAX: 072-392-7273

新潟営業所

〒945-0056
新潟県柏崎市新橋1番32号
TEL: 0257-23-0379
FAX: 0257-23-0483

原子力保全チーム

〒945-0016
新潟県柏崎市青山町3番1号
(柏崎刈羽原子力発電所内)
TEL: 0257-31-8200
FAX: 0257-31-8205

米国およびカナダ

Flowserve Corporation
5215 North O'Connor Blvd.
Suite 2300
Irving, Texas, 75039, USA
TEL: +1 937 890 5839

アジア太平洋

Flowserve Pte. Ltd
10 Tuas Loop
Singapore 637345
TEL: +65 6771 0600
FAX: +65 6862 2329

Flowserve Corporation
5215 North O'Connor Blvd.
Suite 2300
Irving, Texas 75039-5421 USA
Telephone: +1 937 890 5839

Flowserve Corporation は、その製品の設計と製造において業界をリードするトップメーカーです。用途に合わせて正しくお選びいただければ、Flowserve 製品は耐用期間を通じて所期の機能を安全に果たすように設計されています。しかし、Flowserve 製品の購入者またはユーザーは、Flowserve 製品が広範な工業的使用条件の下に各種アプリケーションで用いられる可能性があることをご承知ください。Flowserve では一般的なガイドラインを用意しておりますが、想定されるあらゆるアプリケーションに対応する詳細なデータと警告を提供することはできません。このため、Flowserve 製品の寸法、選定、設置、操作、保守の適正性に対する最終的な責任は購入者/ユーザーが負うものとします。購入者/ユーザーは製品に同梱された設置説明書を熟読のうえ理解し、現場のアプリケーションに関連して Flowserve 製品の安全な使用法に従業員と請負業者に指導する義務があります。

本書の情報と仕様には正確性を期していますが、これはあくまでも参考として示すもので、認定情報として見なされるものではなく、また同情報を根拠に満足いく結果が保証されると判断すべきではありません。本書のいかなる記載も、本製品に関連する何らかの明示的または黙示的保証として解釈されるものではありません。Flowserve は製品設計を継続的に改良、更新しており、本書に記載された仕様、寸法、情報は予告なしに変更される場合があります。上記の内容について疑問が生じる場合には、お近くの Flowserve Corporation 支社または事業所までお問い合わせください。

©2020 Flowserve Corporation. All rights reserved. 本書には Flowserve Corporation の登録商標および未登録商標が記載されています。その他の社名、製品名またはサービス名は、それぞれの企業の商標またはサービスマークの場合があります。

SEBR000159-03 (JA/A4) April 2020